

残そう、未来へ――。

私たちが地域の活動を応援したら、サステナブル。



1 干物に伸びる手 2 開放的な朝ご飯 3 本町通商店街 4 大人気のみそ詰め放題 5 だごたつぷり



不知火町 まつちゃ活かそう会



まつちゃ活かそう会
会長 萩原 洋一 さん(63)

「まつちゃ」ばどぎゃんかしたい
その思いで
27年目を迎える「まつちゃ活かそう会」。松合の過疎化を食い止めようと同志が集まり、始めた朝市。毎月第3日曜には、魚介類や名物の白エビ入りだご汁、野菜などが並びます。現存する白壁土蔵や古くからの港町の名残りあるこの地域を活かしながら、来訪者を楽しませたいという思いで続けています。若いお客さんも増えたので、新名物も作っていききたいですね。魅力ある活動になれば、若者も継いでいってくれと信じ、これからも続けていきます。

自分にできることを考え、どうしたら良くなるのかを想像し、行動しましょう。それは、楽しいまちづくりや明るい未来につながります。地域を大切に思う。受け継がれてきた文化を守る。お年寄りの話を敬意を表して聞く。それはすぐにできること。目の前にある自然やまちを意識しながら生活しましょう。そして、足元を見ましょう。踏み出せない一歩はありません。

踏み出せない一歩はありません

のどかな田園風景が守られているのは農家の皆さんのおかげです。もし、農家の皆さんがいなくなったら、田畑は荒れてしまいます。農家の皆さんを元気にするためには、地域の農作物を食べましょう。
美しい風景を守るためには、地球規模で考える必要がありますが、行動は一人一人が身近なことで起こさなければいけません。無数の小さなアクションは世界を変える力を秘めています。



宇城市地域婦人会の皆さん



石田 凜さん(10)
小川町



1 ホタル 2 「肥後の水とみどりの愛護賞」受賞報告会 3 登山道の整備 4 ヤマメのつかみ取りでにぎわう



松橋町 内田いのべ会

2013年に仲間と始めた「内田いのべ会」。里山や小川を守りながら、地域活性化につなげています。年間を通じて登山道や川の整備、草刈りなどを行い、秋には白岩山の登山、夏になるとホテルの鑑賞会やヤマメのつかみ取りなどを開催。里山には歓声が響き渡ります。会員は10人ですが、老人会や子ども会、消防団と協力しながら活動。自分たちも楽しむことが長く続く秘訣です。幼い頃から親しんできたこの景色を子どもたちに引き継いでいきたいですね。

守りたい自然を生かし、地域活性化に



内田いのべ会
事務局 西村 秋二 さん(68)



SDGsの一番簡単な取り組みは、おにぎりを食べることに

profile
1975年福岡県那珂川町(現那珂川市)生まれ。九州芸術工科大学(現九州大学)大学院芸術工学部修了。宮崎県日南市の「猫さえ歩かない」と言われた油津商店街の再生に取り組み、29件の新規出店などを実現。2017年からは地元に戻り事業間連携専門官に着任し、産学官民などの壁を越えたコーディネーターの役割を担う。宇城市ではまちづくり講座などに携わる。



株式会社ホーホウ
代表取締役 木藤 亮太 さん

SDGsの講演を行い、持続可能なまちづくりを実践してきた木藤さんに話を聞きました



岡村 祐司 さん(68)
豊野町



吉田 彰 さん(34)
三角町

私たちが変われば、世界も変わる

2030年
あなたの目標を
教えてください

